

学習内容報告書 フォーマット

学校名	霧島市立国分小学校
授業者	中馬 勇作

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

豊かな海を未来へ

1-2. 学年

5

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

霧島錦江湾国立公園に含まれる本市は、海や山に囲まれた自然豊かな場所である。しかし、本校の位置する国分市街は、住宅地や商業施設が多く、海に行くのには車が必要である。そんな場所で育つ本校児童らは、海での経験や知識が決して多いとは言えない。そこで、本単元では、「海とわたしたち」をテーマに、身近にあるのに身近に感じていないをあらゆる視点から見つめ、海と私たちとの繋がりを探らせていくこととした。






1-5. 単元設定の理由・ねらい

単元開始前に児童らにとったアンケートでは、海に対するイメージとして、海水浴・魚釣りなど、「遊ぶ」ものが最も多く、少数ではあったがでてきた海のごみ問題についても、「ニュースで見た」といったように客観的に捉えているものばかりであった。そこで、海の良さや問題点について、実際の体験や経験を通して、自分事として捉えさせていきたいという思いから本単元を設定した。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

本単元を通して、海がどれだけ人間や人間の暮らしと関わっているかということを知り、そこから改善していくべき問題点を見つけ、それらを自分事として捉えつつ、「今できること」を考え行動していくような態度を育みたいと考えた。

1-7. 単元の展開 (全 50 時間)

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
8	<ul style="list-style-type: none"> 「海」について知っていることや、海での経験などについて話し合う。 講師の方の話を聞き、海の良さや問題といった現状を知る。 海について、知りたいことや調べてみたいことについて話し合い、テーマを決める。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりが、この時点での「海と自分とのつながり」を意識できるようにするため、海での経験や海に対するイメージなどを語らせる。 海に対する興味・関心を高められるようにするため、海に詳しい人物を招いて話を聞かせる。 【重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアム 浜本氏】 ○ 自分や友達の話や、講師の方のお話から、調べてみたいことを見つけたり、予想したりすることができる。
25	<ul style="list-style-type: none"> 決めたテーマについて、本やインターネットを使って調べる。 海の干潟で遊び、生き物と触れ合う。 海の清掃活動をおこなう。 海で拾い集めたごみを種類別に分けて、分析する。 川の汚染や水質検査について学ぶ。 ごみ拾いで見つけた生き物(ヨコエビ)について調べる。 ヨコエビの分解能力を調べるための実験をする。 SDGs カードゲームを通して、環境の持続可能性について考える。  	<ul style="list-style-type: none"> 海の良さや海にくらす生き物、その生き物たちの役割を肌で実感してもらうため、干潟で生き物探しをさせる。 【重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアム】 実際にどんなごみがどれくらい捨てられているのかを知るために、海での清掃活動と拾い集めたごみの分析をさせる。 【国分海浜公園 (下井海岸)】 海に繋がる川を汚染しないためにどのような取組がされているか知るために、講師の方のお話を聞かせたり、実際に水質検査をさせたりする。 【県環境保全協会】 ヨコエビがマイクロプラスチックを取り込むという研究結果を確かめるために、教室の水槽で実験させる。 【SDGs カードゲーム】 ○ テーマをもとに調べたり、体験や調べたことからさらに新しい疑問を見つけたりすることができる。
12	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことから、伝えたいメッセージについて話し合いまとめる。 パンフレットの構成やデザインについて考える。 分担して、パンフレットを制作する。 学級同士でパンフレットを見合せて、アドバイスする。 	<ul style="list-style-type: none"> 分かったことを発信していくために、伝えたいことを簡潔にまとめさせたり、伝える相手を考えさせたりする。 伝えたいことの中心が読み手に正しく伝わるように、言葉の使い方や挿入する写真、グラフなどを考えさせる。 ○ 調べたことや分かったことから、伝えたいことを簡潔にまとめ、読みやすいパンフレットにしようとするすることができる。
3	<ul style="list-style-type: none"> 出来上がったパンフレットをどこに置かせてもらうかを話し合う。 気持ちの伝わる手紙の書き方を考え、分担して手紙を書く。 手紙とパンフレットを届ける。 	<ul style="list-style-type: none"> パンフレットの目的を確かめ、作り手の思いを発信させていくために、「どこに置かせてもらうか」「どのような言葉を添えるか」を考えさせる。 ○ 目的に合った表現を使って、作り手の思いや願いを手紙にすることができる。
2	<ul style="list-style-type: none"> 1年間の活動の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年間の活動の成果を確認したり、気付いたことや感じたことを互いに表現させたりしながら、今後の課題を見つけさせる。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

干潟での生き物探しを通して、海の心地よさや生き物の命の尊さ、海の生き物と人間との繋がりについて気づき、海の生き物やそれらが暮らす環境を守っていくことに目を向けることができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<ul style="list-style-type: none"> 干潟での経験を語り合う。 干潟の生き物を集めてアクアリウムを作ろう グループに分かれて、重富海岸（始良市）の干潟で海の生き物探しをする。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 干潟って気持ちいいな。 穴を掘っても、ゴカイはなかなか見つけられないよ。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 集めた生き物を水槽に入れて、「干潟の生き物アクアリウムづくり」をする。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 小さくてかわいい。 見たことない生き物がいる。ミュージアムの人に聞いたら、数が少ない生き物だった！ </div>  <ul style="list-style-type: none"> 集めた「海の小さな生き物」のはたらきについてなぎさミュージアムの方のお話を聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> こんな小さな生き物が、私たちの暮らしに繋がっているなんて知らなかった。 </div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>海の小さな生き物は、海をきれいにしたり、魚たちの良い餌になったりすることで、私たちの暮らしと繋がっている。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 干潟の生き物たちを傷つけないよう、マリンシューズを用意させたり、生き物を丁寧に扱うよう声をかけたりする。 生き物同士が互いに傷つけないよう、「柔らかい生き物」「硬い生き物」とに分けて生き物を採集させる。 <p>○ 海の心地良さを感じたり、海の生き物を大切に扱おうと心がけたりしている。（観察）</p> <ul style="list-style-type: none"> アクアリウムを作る中で、こういった生き物が海でどんなはたらきをしているかを考えさせる。 集めた小さな生き物が、魚の糞などを食べて海をきれいにしてくれたり、魚たちの良い餌となったりすることで、人間の暮らしと繋がっているということを補足で説明する。（事後） <p>○ 干潟体験で知ったことや感じたことから、海について考えを深めたり、さらに知りたいことや詳しく調べてみたいことを見つけたりすることができる。（事後振り返りシート）</p>

3. 今回の活動の自己評価

海での経験が多くない児童らにとって、干潟で実際に生き物を探すという活動は意味のあるものになった。また、生き物探しをする際に、「柔らかいもの（ゴカイや小魚）」「硬いもの（貝など）」とに分けて集めることや、マリンシューズを履くことなどから、「生き物や生き物たちの環境を大切にする」ということも学べたように思う。一見、何も関わりがないように思えても、きれいに保たれた海で遊ぶためには、そして海の生き物の命をいただくためには、それらの生き物の存在が必要不可欠だということも、今回の体験によってより確かに実感させることができた。

4. 今後の課題

今回は、この活動を通して、4つの視点（①海の生き物について ②海の水質汚染について ③海のごみ問題について ④海の生き物の環境について）から活動を再編した。干潟体験によって見つけた疑問点や興味関心に沿ってこのような活動へと移っていった。同じ体験から出発し、それぞれのグループで分かれての活動となるが、最終的な目的地は、「海とわたしたちとの繋がり」を見つけることである。ここをどのように結び付けていけるかが今後の課題である。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特にありません。

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。